No.5　横須賀市立武山中学校

学校だより

【学校教育目標】
ゆたかな心を　育てる学校
「学力　文化　コミュニケーション」

令和2年6月1日
発行　校長　佐藤昌俊

待ちに待った学校再開

本日６月１日から学校を再開することができました。とても長い間、子どもたちには自宅での自粛生活をしてもらい、授業や行事、そして部活動などができない日々が続いていました。この間、本当に大変だったと思います。また、保護者の方におかれましても学校休校に、ご理解・ご協力いただき感謝申し上げます。休校中の課題の一つとして作文（テーマ「これまでとは違う生活の中、思っていることや気づいたこと、または学校が再開したときにやりたいこと」）を書いてもらいました。そこには様々な生徒の気づきや思いがつづられていました。その一部を紹介します。

・毎日楽しく学校に行けていたのも当たり前ではないと、改めて感じた。
・今までの当たり前の生活を有難く思って、これから生活したい。
・自粛中でしかできないことができ、自分の知らない自分に出会えた。
・授業がないってことはこんなにも勉強がたいへんなことになるんだと感じた。これからは授業を大切にしたい。
・友達にあって直接話したい。

このように学校再開やその先に希望や意欲をもつ生徒もいれば、新たな学校生活に不安を抱く生徒もいます。そのような子ども一人一人の心にあるプラスの面もマイナスの面もしっかりと受け止めて、学校をスタートしたいと考えています。そのために**明日から４日間、午前中は分散登校（クラスをＡ、Ｂ二つのグループに分け登校）による授業を行い、午後は二者面談を実施**して、短い時間ではありますが、担任が個々の声をしっかりと聴き、受け止める時間をつくります。これだけ長い間、学校に行けなかったり、家庭においても普段の生活とは異なる生活を余儀なくされたりしたので、心の中に少なからず戸惑いや不安などがあるのだと思います。表面的には元気に見せている子どもでも心の奥底には大きな不安を抱いているかもしれません。また、教職員も長い間会えなかった生徒とお話がしたいという率直な思いがあります。

子ども一人一人に寄り添いながら、段階を置いて通常の生活に戻していきます。**６月８日（月）～19日（金）は午前の部、午後の部の分散登校による授業**を進めていきます。まずは、各クラスともに半分の人数による授業です。もちろん午前、午後と同じ授業を行います。私たち教師も初めての経験です。お子様がどちらのグループなのか、学級通信などでしっかりと確認して登校させてください。学校生活が始まりますが、感染リスクが０になったわけではありません。**“新たな生活様式”をもとに感染防止にも引き続き努めていきます。**

なお、学校が再開して何かご心配なことがありましたら、担任や学年の教員にご相談ください。